







決	議長	局長	次長	係長	係員
裁					 

派遣承認要求書

令和4年10月12日

栗原市議会議長 殿

会派名 政策フォーラム
 代表者 石川 正運 

下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。






記

日時	平成4年11月22日（火） 7時35分から 平成4年11月24日（木） 14時05分まで
派遣先	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県江津市役所 島根県江津市江津町 1016 番地 4 ・山口県萩市 道の駅「萩しーまーと」ふるさと萩食品協同組合 山口県萩市椿東 4 1 6 0 - 6 1
派遣目的	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県江津市役所 有機農業の振興とスマート農業との関連事業について ・山口県萩市 道の駅「萩しーまーと」ふるさと萩食品協同組合 道の駅「萩しーまーと」の設立と運営及び駅長の民間応募について
経費	旅費：268,000円（1人あたり67,000円） その他経費：視察先へのお土産代ガソリン代、高速代
派遣議員氏名	石川正運、佐藤久義、佐々木嘉郎、三塚東
議長依頼文の要否	(要) 否
備考	

※ その他資料があれば添付願います。



様式第9号（第6条関係）

決 裁	議 長	局 長	次 長	係 長	係 員
					

自家用車による出張計画表

令和4年10月12日

栗原市議会議長

殿

会 派 名 政策フォーラム  印
代表者氏名 石川正運

下記のとおり自家用車による出張をしたいので、承認されるよう要求します。

記

日 時	令和4年11月22日（火）～24日（木）
出 張 先	島根県江津市、山口県萩市
目 的	行政視察（栗原市役所から仙台空港までの往復）
出 張 議 員	石川正運、佐藤久義、三塚東、佐々木嘉郎
自家用車所有者	佐々木嘉郎

行程明細

出発地～行先	利用道路	距離 (km)	車 賃	有料道路代	駐車場代
11/22 栗原市役所→仙台空港	東北道ほか	85	3,400円	2,560円	
11/24 仙台空港→栗原市役所	東北道ほか	85	3,400円	2,560円	
	小 計		6,800円	5,120円	
			出張雑費	11,920円	
			宿泊料		
			総 計	11,920円	



栗原市議会視察行程表

【会派名：政策フォーラム】

日程：令和4年11月22日(火)～11月24日(木)

月日	行 程	発	着	摘 要
11/22 (火)	栗原市役所 ～ 仙台空港	5:30	7:00	自家用車乗合
	仙台空港 ～ 広島空港	7:35	9:20	ANA3135便
	広島空港 ～ 広島バスセンター	10:05	11:00	空港リムジンバス
	広島バスセンター ～ 浜田駅	12:25	14:30	岩見交通
	浜田駅 ～ 江津市役所	14:30	14:55	タクシー移動
	【調査】 「有機農業の振興と関連事業について」	15:00	16:30	江津市役所 TEL:0855-52-7498
	江津市役所 ～ 江津駅	16:49	16:59	徒歩
	江津駅 ～ 浜田駅	16:59	17:25	山陰本線
	ホテル（市内泊）			【宿泊先】グリーンリッチホテル浜田駅前 住所：島根県浜田市浅井町86-19 TEL：0855-24-1234
11/23 (水)	浜田駅 ～ 益田駅	8:10	9:12	山陰本線
	益田駅 ～ 東萩駅	9:31	10:43	山陰本線
	東萩駅 ～ 道の駅萩しーまーと	10:50	11:00	タクシー移動
		昼食等		
	【調査】 「設立と運営及び駅長の民間応募について」	13:30	15:00	道の駅 萩しーまーと TEL:0838-24-4937
	道の駅萩しーまーと ～ 東萩駅	16:30	16:45	タクシー移動
	東萩駅 ～ 新山口駅	17:05	18:20	中国JRバス
		ホテル（市内泊）		
11/24 (木)	新山口駅 ～ 博多駅	9:49	10:24	新幹線のぞみ77号
	博多駅 ～ 福岡空港	10:42	10:48	福岡市地下鉄
	福岡空港 ～ 仙台空港	12:55	14:05	ANA3115便
	仙台空港 ～ 栗原市役所	15:00	16:30	自家用車乗合

視察研修結果報告書

令和4年12月2日

栗原市議会議長 佐藤 千昭 殿

会 派 名 政策フォーラム

代表者氏名 石川 正運



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和4年11月22日（火）～24日（木）
- 2 視察研修先
 - ①島根県江津市役所
 - ②山口県萩市 道の駅「萩しーまーと」ふるさと萩食品協同組合
- 3 目 的
 - ①島根県江津市役所 有機農業の推進取組について
高齢化が進む中国地方でひととき先進的・斬新的な有機農業に取り組んでいる生産者と現地を視察
 - ②山口県萩市 道の駅「萩しーまーと」ふるさと萩食品協同組合
道の駅「萩しーまーと」の設立と運営について
多くの道の駅がスーパーと同じ安売り合戦に取り組む中で、全国公募による駅長を選出して他と競争することのない道の駅づくりを視察
- 4 調査研究内容
 - ①島根県江津市役所
江津市は島根県の北部に位置し、人口は22,493人（令和3年12月

3 1日現在) 中国地方で一番規模の小さな市である。

市の産業は良質な粘土を活用した窯業が古くから盛んで、日本三大瓦の一つ、石川瓦が織りなす赤茶色の家並みが多く、また、農業が盛んで桑茶やごぼうなどを特産品に力を入れている。

島根県は平成20年に、島根県有機農業推進計画策定し、農業大学校に有機農業コースを設置している。

平成26年に第5次江津市総合振興計画策定し、具体的な取り組みを行う推進母体として、江津市有機農業推進協議会を設立し、協議会会長には、平成7年に帰郷し、新規就農者で市の認定を受け農業法人を立ち上げ、環境への負担を考慮し、農薬を一切使用しないで、豚堆肥、もみ殻などの地域資源を活用した環境にやさしい循環型農業を行っている。

栽培面積は1.4ha(ハウス53棟)に小松菜、水菜、ホウレンソウなど従業員18名で学校給食や地元消費者に生産販売している。

平成13年に有機農業に取り組み、持続可能な農業推進コンクールで中国、四国農政局長賞を受賞している。

江津市では農地面積が少ない中で地域資源を活かし、高い付加価値をつけて有機農業に取り組んでいる。

②山口県萩市 道の駅「萩しーまーと」ふるさと萩食品協同組合

平成13年4月ふるさと萩食品館オープンにあたり、「あなたにお願いしたいことは、ここを拠点に萩のまちをもっと暮らし良く、魅力的にすることです。」と食品館立ち上げから、企画、運営全般、経理、事務責任、経営をあなたにお任せすると全国から公募し、民間人を採用。

これまでの経験を活かし、山の幸、海の幸に恵まれながら、味のまち萩市の魅力はPR不足もあって十分に浸透していなかった。

全国に情報発信する拠点の1つの役割とし、「食を通して市民の生活を豊かに」を目的としていた。また、萩市で暮らす人への食料を届けるご用ききサービス等、新しい風、活力のある地域を目指してきたのが、道の駅「萩しーまーと」である。

「萩しーまーと」の運営を一時は、第3セクターも考えたがそれでは責任が曖昧になる。真剣さがなくなるのではないかとの視点から17社の会社のオーナーが組合を立ち上げ、加入1社あたり、150万円を出資。

道の駅長には一般から女性を起用していた。道の駅の年間来館者は120万人から130万人で売上、9億円でこの内6億円は萩市からの物産が占めている。

経営理念、1 地産地消の拠点機能、2 客の前で直接売る（コミュニケーション） 3 試食させる（良い物を比べて頂く） 4 好みで買える 5 地元高校生が作ったものを売る 6 萩市の情報発信（メディアを使う、地元新聞、広告等広く宣伝することが重要）

新商品の開発、めずらしい商品を作るなど、漁協、商工会や市役所から出向で、3年間民間で経験させる等、市を挙げて全力を注いでいた。

市民すべてが道の駅「萩しーまーと」の経営者という感ずる研修であった。

5 参加議員 石川 正運、佐藤 久義、佐々木 嘉郎

